

別表7 一戸建て住宅及び他住戸がない共同住宅等（既存）の建設評価料金

別表7-1 木造又は鉄骨造でRC造部分がない建物

(税込 単位：円)

区分 延床面積	評価書(新築)あり <sup>※1</sup>		評価書なし ※他機関発行の評価書ありも含む			
	基本料金	分ごと加算 <sup>※2</sup>	基本料金	分ごと加算 <sup>※2</sup>		
200㎡以内	88,000	構造	22,000	110,000	構造 <sup>※5</sup>	55,000
		劣化	11,000		劣化 <sup>※6</sup>	22,000
		断熱のみ <sup>※3※4</sup>	33,000		断熱のみ <sup>※3※4</sup>	33,000
		一次エネのみ <sup>※3※4</sup>	33,000		一次エネのみ <sup>※3※4</sup>	33,000
		断熱+一次エネ <sup>※3※4</sup>	55,000		断熱+一次エネ <sup>※3※4</sup>	55,000
		その他 <sup>※7</sup>	@1,100		その他 <sup>※7</sup>	@2,200
		長期確認（既存）と一体申請 <sup>※8</sup>	92,400		長期確認（既存）と一体申請 <sup>※8</sup>	92,400
200㎡超え ～ 500㎡以内	99,000	構造	22,000	132,000	構造 <sup>※5</sup>	55,000
		劣化	11,000		劣化 <sup>※6</sup>	22,000
		断熱のみ <sup>※3※4</sup>	33,000		断熱のみ <sup>※3※4</sup>	33,000
		一次エネのみ <sup>※3※4</sup>	33,000		一次エネのみ <sup>※3※4</sup>	33,000
		断熱+一次エネ <sup>※3※4</sup>	55,000		断熱+一次エネ <sup>※3※4</sup>	55,000
		その他 <sup>※7</sup>	@1,100		その他 <sup>※7</sup>	@2,200
		長期確認（既存）と一体申請 <sup>※8</sup>	92,400		長期確認（既存）と一体申請 <sup>※8</sup>	92,400
500㎡超え 又は 軒高9m超え	110,000	構造	27,500	154,000	構造 <sup>※5</sup>	66,000
		劣化	11,000		劣化 <sup>※6</sup>	22,000
		断熱のみ <sup>※3※4</sup>	33,000		断熱のみ <sup>※3※4</sup>	33,000
		一次エネのみ <sup>※3※4</sup>	33,000		一次エネのみ <sup>※3※4</sup>	33,000
		断熱+一次エネ <sup>※3※4</sup>	55,000		断熱+一次エネ <sup>※3※4</sup>	55,000
		その他 <sup>※7</sup>	@1,100		その他 <sup>※7</sup>	@2,200
		長期確認（既存）と一体申請 <sup>※8</sup>	97,900		長期確認（既存）と一体申請 <sup>※8</sup>	97,900

※1 当社が交付した設計評価書の場合は11,000円を、建設評価書では33,000円を、基本料金から減額します

※2 料金は評価を希望する分野ごとの金額が加算となります（基本的には「日本住宅性能表示基準」に示される音環境を除く全ての評価項目について申請が可能です）

・評価書等の一定の信頼性のある設計図書等が無い場合は、最低限の等級若しくは評価できない場合がございます（詳しくはお問い合わせ下さい）

※3 断熱及び一次エネの評価は申請時点での基準によって評価するため、旧基準は使用できません

・旧基準による「型式住宅部分等製造者認証書」や「住宅型式性能認定書」等も利用することはできません

※4 一次エネは現況ではなく、設計値での評価となります

・検査時に作動しない設備がある場合は評価することができません

※5 構造の金額は、昭和56年5月31日以前に竣工した増改築をしていない住宅を対象とした耐震診断を実施する場合の金額です

・建築士が作成した耐震基準適合証明書又は構造図と構造計算書がある場合は11,000円減額とします

・評価対象建築物の着工時期が昭和56(1981).6.1以降であり、建築基準法第7条第5項の検査済証がある場合は11,000円減額とします

(但し、等級1（現場検査による劣化の状況によっては等級0）の評価となります）

・耐震基準適合証明書又は構造図と構造計算書、若しくは昭和56年6月以降の着工で検査済証と完了検査に用いられた図書（工事監理報告書・施工写真・各種試験結果等）がある場合を除き、評価を希望されても等級0となります

※6 劣化に係る対策が確認できる一定の信頼性のある設計図書がない状態で等級2以上の評価を希望される場合は、別途調査費用が発生する場合がございます

※7 室内空気中の化学物質等の濃度の実測を希望される場合は別途費用が発生致します（お見積りさせていただきます）

※8 構造、劣化、断熱、一次エネ、維持管理の分野に限ります

別表7 一戸建て住宅及び他住戸がない共同住宅等（既存）の建設評価料金

別表7-2 RC造、木造又は鉄骨造でRC造部分のある建物 (税込 単位：円)

区分 延床面積	評価書(新築)あり <sup>※1</sup>		評価書なし ※他機関発行の評価書ありも含む			
	基本料金	分ごと加算 <sup>※2</sup>	基本料金	分ごと加算 <sup>※2</sup>		
200㎡以内	99,000	構造	27,500	132,000	構造 <sup>※5</sup>	66,000
		劣化	11,000		劣化 <sup>※6</sup>	22,000
		断熱のみ <sup>※3※4</sup>	33,000		断熱のみ <sup>※3※4</sup>	33,000
		一次エネのみ <sup>※3※4</sup>	33,000		一次エネのみ <sup>※3※4</sup>	33,000
		断熱+一次エネ <sup>※3※4</sup>	55,000		断熱+一次エネ <sup>※3※4</sup>	55,000
		その他 <sup>※7</sup>	@1,100		その他 <sup>※7</sup>	@2,200
		長期確認(既存)と一体申請 <sup>※8</sup>	97,900		長期確認(既存)と一体申請 <sup>※8</sup>	148,500
200㎡超え ～ 500㎡以内	110,000	構造	27,500	154,000	構造 <sup>※5</sup>	66,000
		劣化	11,000		劣化 <sup>※6</sup>	22,000
		断熱のみ <sup>※3※4</sup>	33,000		断熱のみ <sup>※3※4</sup>	33,000
		一次エネのみ <sup>※3※4</sup>	33,000		一次エネのみ <sup>※3※4</sup>	33,000
		断熱+一次エネ <sup>※3※4</sup>	55,000		断熱+一次エネ <sup>※3※4</sup>	55,000
		その他 <sup>※7</sup>	@1,100		その他 <sup>※7</sup>	@2,200
		長期確認(既存)と一体申請 <sup>※8</sup>	97,900		長期確認(既存)と一体申請 <sup>※8</sup>	148,500
500㎡超え または 軒高9m超え	121,000	構造	33,000	176,000	構造 <sup>※5</sup>	77,000
		劣化	11,000		劣化 <sup>※6</sup>	22,000
		断熱のみ <sup>※3※4</sup>	33,000		断熱のみ <sup>※3※4</sup>	33,000
		一次エネのみ <sup>※3※4</sup>	33,000		一次エネのみ <sup>※3※4</sup>	33,000
		断熱+一次エネ <sup>※3※4</sup>	55,000		断熱+一次エネ <sup>※3※4</sup>	55,000
		その他 <sup>※7</sup>	@1,100		その他 <sup>※7</sup>	@2,200
		長期確認(既存)と一体申請 <sup>※8</sup>	103,400		長期確認(既存)と一体申請 <sup>※8</sup>	159,500

※1 当社が交付した設計評価書の場合は11,000円を、建設評価書では33,000円を、基本料金から減額します

※2 料金は評価を希望する分野ごとの金額が加算となります(基本的には「日本住宅性能表示基準」に示される音環境を除く全ての評価項目について申請が可能です)

・評価書等の一定の信頼性のある設計図書等が無い場合は、最低限の等級若しくは評価できない場合がございます(詳しくはお問い合わせ下さい)

※3 断熱及び一次エネの評価は申請時点での基準によって評価するため、旧基準は使用できません

・旧基準による「型式住宅部分等製造者認証書」や「住宅型式性能認定書」等も利用することはできません

※4 一次エネは現況ではなく、設計値での評価となります

・検査時に作動しない設備がある場合は評価することができません

※5 構造の金額は、昭和56年5月31日以前に竣工した増改築をしていない住宅を対象とした耐震診断を実施する場合の金額です

・建築士が作成した耐震基準適合証明書又は構造図と構造計算書がある場合は11,000円減額とします

・評価対象建築物の着工時期が昭和56(1981).6.1以降であり、建築基準法第7条第5項の検査済証がある場合は11,000円減額とします

(但し、等級1(現場検査による劣化の状況によっては等級0)の評価となります)

・耐震基準適合証明書又は構造図と構造計算書、若しくは昭和56年6月以降の着工で検査済証と完了検査に用いられた図書(工事監理報告書・施工写真・各種試験結果等)がある場合を除き、評価を希望されても等級0となります

※6 劣化に係る対策が確認できる一定の信頼性のある設計図書がない状態で等級2以上の評価を希望される場合は、別途調査費用が発生する場合がございます

※7 室内空気中の化学物質等の濃度の実測を希望される場合は別途費用が発生致します(お見積りさせていただきます)

※8 構造、劣化、断熱、一次エネ、維持管理の分野に限ります

別表 8 他住戸がある共同住宅等（既存）の建設評価料金

(税込 単位：円)

区分 延床面積	評価書(新築)あり <sup>※1</sup>			評価書なし ※他機関発行の評価書ありも含む		
	基本料金	分ごと加算 <sup>※2</sup>		基本料金	分ごと加算 <sup>※2</sup>	
5階建て以下 かつ 1000㎡以内	(住棟評価)			(住棟評価)		
	88,000	構造	33,000	220,000	構造 <sup>※5</sup>	77,000
		劣化	11,000		劣化 <sup>※6</sup>	22,000
		維持管理	5,500		維持管理	22,000
		その他	@2,200		その他	@2,200
	(住戸評価/1戸あたり)			(住戸評価/1戸あたり)		
	@22,000	断熱のみ <sup>※3※4</sup>	33,000	@33,000	断熱のみ <sup>※3※4</sup>	33,000
		一次エネのみ <sup>※3※4</sup>	33,000		一次エネのみ <sup>※3※4</sup>	33,000
		断熱+一次エネ <sup>※3※4</sup>	55,000		断熱+一次エネ <sup>※3※4</sup>	55,000
		その他 <sup>※7</sup>	@1,100		その他 <sup>※7</sup>	@2,200
長期確認（既存）と一体申請 <sup>※8</sup>		140,800+ 79,200×M	長期確認（既存）と一体申請 <sup>※8</sup>		344,300+ 90,200×M	
6階建て以上 かつ 1000㎡を超え	(別途お見積り)			(別途お見積り)		

※1 当社が交付した設計評価書の場合は11,000円を、建設評価書では33,000円を、基本料金から減額します

※2 料金は評価を希望する分野ごとの金額が加算となります（基本的には「日本住宅性能表示基準」に示される音環境を除く全ての評価項目について申請が可能です）

・評価書等の一定の信頼性のある設計図書等が無い場合は、最低限の等級若しくは評価できない場合がございます（詳しくはお問い合わせ下さい）

※3 断熱及び一次エネの評価は申請時点での基準によって評価するため、旧基準は使用できません

・旧基準による「型式住宅部分等製造者認証書」や「住宅型式性能認定書」等も利用することはできません

※4 一次エネは現況ではなく、設計値での評価となります

・検査時に作動しない設備がある場合は評価することができません

※5 構造の金額は、昭和56年5月31日以前に竣工した増改築をしていない住宅を対象とした耐震診断を実施する場合の金額です

・建築士が作成した耐震基準適合証明書又は構造図と構造計算書がある場合は11,000円減額とします

・評価対象建築物の着工時期が昭和56(1981).6.1以降であり、建築基準法第7条第5項の検査済証がある場合は11,000円減額とします

(但し、等級1（現場検査による劣化の状況によっては等級0）の評価となります）

・耐震基準適合証明書又は構造図と構造計算書、若しくは昭和56年6月以降の着工で検査済証と完了検査に用いられた図書（工事監理報告書・施工写真・各種試験結果等）がある場合を除き、評価を希望されても等級0となります

※6 劣化に係る対策が確認できる一定の信頼性のある設計図書がない状態で等級2以上の評価を希望される場合は、別途調査費用が発生する場合がございます

※7 室内空気中の化学物質等の濃度の実測を希望される場合は別途費用が発生致します（お見積りさせていただきます）

※8 構造、劣化、断熱、一次エネ、維持管理の分野に限ります

## 別表9 既存建物等のその他調査、検査等の料金

別表9-1 既存住宅の室内空気中の化学物質等の濃度等の測定、蟻害、腐朽調査 (税込 単位：円)

測定、調査内容	料金
化学物質	新築の場合と同じ
蟻害調査	別途お見積り (44,000～55,000)
腐朽調査	別途お見積り (44,000～ )

別表9-2 既存住宅の石綿含有建材の有無等 (税込 単位：円)

測定対象	料金
吹付か石綿、吹付けロックウール、それ以外の建材 (測定実施を申請者が選択した建材)	測定対象 2 品目の場合 398,200円 (1 品目あたり 3 検体採取。測定対象が 1 品目増える毎に 116,600円加算)
書面調査、現場確認により測定対象が 1 品目になった場合、評価料金は 281,600円に減額されます。測定対象がない場合、評価料金は 55,000円に減額されます。	
試料採取に際して天井等の一部をはがす、高所作業で足場が必要ななどの場合は申請者にて準備をお願いします。また、試料採取部分の簡便な飛散防止対策は行いますが、その部分及び前期準備部分の復旧・補修は申請者にてお願いします。	

別表9-3 既存住宅の室内空気中の石綿の粉塵の濃度等 (税込 単位：円)

測定対象	料金
居室等における室内空気中の石綿の粉塵の濃度	1 か所に付き 279,400円 (2 資料採取・分析)

別表9-4 評価書又は確認書の再交付 (税込 単位：円)

基本料金	8,800
書面で交付する場合、基本料金の他に、申請毎に 1 件当たり 2,750円 <sub>※1</sub> の料金がかかります。	

※1 合計枚数が200枚を超える場合、100枚ごとに550円を加算します。

別表9-5 交付図書を書面とする場合の印刷料金 (1 申請 1 件あたり) (税込 単位：円)

印刷図書の種類	対象申請		料金
評価書等 <sub>※1</sub>	全申請	性能長期一体申請は 1 申請として扱います	1,100
評価書等+添付図書等 <sub>※2</sub>		性能長期一体申請は別申請 (2 申請) として扱います	2,750 <sub>※3</sub>

※1 評価書等とは、現況検査・評価書、(長期) 確認書等をいいます。

※2 添付図書等とは、各申請書の副本及び添付図書をいいます。

※3 添付図書等の一部当たりの合計枚数が200枚を超える場合、100枚ごとに550円を加算します。